



よこすか市議会だより

No.38

令和2年(2020年)
11月6日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い議会を開会しています



演壇にアクリル板を設置



飛沫防止対策を徹底

台風被害・コロナ禍の影響を受けた決算を審査

8月臨時議会

8月4日に一日限りの臨時議会を開き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止、地域経済や住民生活の支援、新しい生活様式への対応などの事業が計上された補正予算案を審議しました。具体的には、修学旅行中止に伴うキャンセル料や、認可外保育施設における保育料の返還についての支援、市内中小企業等の事業承継や業態転換の推進、急増している生活保護の相談体制の強化、子どもたちの学びを保障できる環境整備の一環でPC・タブレットを導入するものであり、全会一致で可決しました。

9月定例議会

8月31日から10月6日まで37日間の期間で9月定例議会を開催しました。15人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市長・教育長と議論を交わしました。(3面に掲載)

今回の定例議会は、30件の議案を審議。市長が提案した今年度の補正予算案や、令和元年度の決算議案について、詳細な審査を分科会にて行い、いずれも可決、認定または同意しました。

また、1件の請願審議と6件の陳情審査を各常任委員会で行いました。(審議結果は4面に掲載)

議会が行う決算審査は、昨年度の予算執行の確認のみではなく、市民の皆さんの税金がどのように使われたのか、事業効果の検証や評価を通して来年度の予算編成に反映させる重要なものです。昨年度は、台風被害や新型コロナウイルス感染症の様々な事案があり、それに市がどのように対応してきたか等を含め、総合的な視野で審査に臨んだ9月定例議会でした。

クラスター連鎖防止のためのPCR検査の実施

新型コロナウイルス感染症への対応として、クラスター連鎖が生じやすいと考えられる集団等におけるPCR検査の実施に要する費用について補正予算の審査をしました。

新型コロナウイルスは無症状でも感染していくため、感染経路が特定できない事例が増えています。このため、濃厚接触を生じやすいなど、感染



主な質疑

問 クラスター連鎖が生じやすいと考えられる集団の対象者である夜の街とは具体的にどういったところになるのか。

答 国の通知にもあるようにライブハウスやカラオケ、飲食店も夜の街で想定している業種である。

問 予算の内訳として、1か所100人、4か所合計400人分となっているがその根拠は。

答 1か所100人の根拠

高齢者インフルエンザ予防接種の無料化

高齢者に対するインフルエンザの予防接種無料化の補正予算を審査しました。

主な質疑

問 接種率を70%と見込んでいますが、実際の接種率が70%を超えても予算内で対応ができるのか。

答 現在、県の指標が70%であり、同様の接種率を見込んでいる。上回ることであればその時点で相談したい。多くの方に接種していただきたい。

問 周知方法について、案内のチラシは町内会等の回覧に入れるのか。

答 行政センターへ配布し掲示を予定している。町内会等は多忙と聞いてい

は3月に施設で感染者が発生したときの検査数を参考にした。4か所は夜の街関連やスポーツジムを想定している。

問 クラスター連鎖を生じやすい集団には、密になりやすい小学校も考えられるが学校等も対象になるのか。

答 小学校も対象と考える。

問 検査対象となる集団を決める判断は誰が行うのか。

答 保健所長が判断する。問 自分の店の従業員についてPCR検査をしてほしいという希望は受け付けられるか。

答 この検査は、ある集団に陽性者が出てからがターゲットとなるので、全く陽性者が出ていない状態では対象とならない。

るが担当部に相談したい。高齢者が対象ということで周知が届きにくいと思うので検討したい。問 新型コロナウイルスの時は、副反応で健康被害があった場合は救済制度があった。今回はあるのか。

答 今回の高齢者インフルエンザ予防接種は法定の予防接種となるので救済制度がある。



障害者ワークステーションと そこで働く障害者の就労支援

9月7日の総務常任委員会の中で、障害者雇用率について、担当部から令和2年6月1日現在、法定雇用率未達成の状況であり、今後の対応として障害者雇用促進ワークステーションで検討を行い、関係部局で連携し対策を講じていくと報告を受けました。未達成の状況が3年続いていることもあり、委員からは厳しい質疑がありました。さらに24日の決算審査の中で、障害者ワークステーション事業について質疑を行いました。この事業は、令和元年5月に知的障害者や精神障害者の方

主な質疑

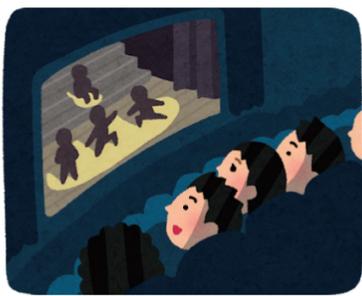
問 障害者ワークステーション職員の予算を増やし、人員を増やせば障害者雇用率を上げられるのではないかと。
答 応募もあり、可能であるとは思いますが、今はやみくもに人員を増やすのではなく、どのように働けるかを模索している。

芸術・文化事業を いかに考えるべきか

令和元年度の決算報告があり、芸術劇場管理事業として5億5千万円余、文化会館とはまゆう会館の管理事業として1億5千8百万円余、これらの設備更新費用として1億9千9百万円余の

主な質疑

問 財政が厳しい状況の中で芸術劇場の指定管理料を引き下げる交渉はできないか。また、文化会館・はまゆう会館も含めた設備更新に関する考え



るかを模索している。法定雇用率の達成と、そこでの経験を活かして広く一般就労へつなげていくことを、バランス良く行う必要があるのではないか。答 同事業は2年目を迎

上下水道事業の経営基盤強化 に向けた対策

本市の上下水道事業は市民の豊かで快適な日常生活や都市活動を支える重要なライフラインとしての役割を果たすため、安全で良質な水の安定供給、適切な下水道処理による快適で安全・安心な生活空間の確保及び公共用水域の水質の向上に努めています。

主な質疑

しかし、人口減少や節水型家電などの普及により、当事業を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いています。問 上下水道事業の厳しい

え、一緒に働き経験を積んでいくところである。本市の福祉事業として、また事業主として、現在模索しているところで、しっかりと検討を継続していく。

新規フェリー航路の就航に向けた 設備整備を行う増額補正予算

横須賀港と北九州港を結ぶ新規フェリー航路の就航に向け、フェリー事業者がターミナル建設工事を行います。これに伴い、市が新港ふ頭内の水道・下水道・電気設備整備を行うための工事負担金の

主な質疑

問 フェリー事業者との共同利用を前提とした既存事業者との交渉が難航している。既存事業者の理解を求めやすく粘り強い交渉が必要ではないか。答 市としては共存の考えなのだが、既存事業者との合意形成に向けて、新規フェリー就航開始時期を遅らせる選択肢はないのか。

感染症対策として避難所に間仕切りやサーキュレーター等を整備

各体育会館やコミュニティセンター計22か所の風水害時自主避難所及び市立小中学校70か所の震災時避難所における新型コロナウイルス感染症対策として、必要な機材や物品を整備する議案を審査しました。

主な質疑

問 間仕切り有症状者と無症状者を分けるのか。答 有症状者を別室に移し、間仕切りにより別室内での感染拡大防止を図る。問 間仕切りの有効性をどう分析しているか。答 飛沫拡散防止の観点で有効と考える。

整備する機材・物品	個数
間仕切り(有症状者用スペース用)	88個(4個×22か所)
サーキュレーター(効率的な換気用)	44個(2個×22か所)
温湿度計(熱中症予防用)	22個(1個×22か所)
小型扇風機(熱中症予防用)	820個(避難所用テントと同数)

問 サークュレーターを震災時避難所(小中学校等)に置かない理由は。答 学校の体育館や教室には同様の機器があり、それを活用する。

現在、港湾計画の改訂作業を進めており、その中で新たな岸壁整備、ふ頭整備を検討したい。問 市の案では、新港ふ頭の半分(約2.1ha)を外資エリアとしている。既存事業者が通年通して使えるのが2.1haとなり、荷の管理が非常に大変になる。ただでさえ狭い敷地の中で作業場が半分になることを丁寧に説明する必要があるのではないかと。

問 外資エリアについては、自動車運搬船の来港頻度にあわせて完成自動車を港に運び込めば、原案で対応可能である。問 市としては共存の考えなのだが、既存事業者との合意形成に向けて、新規フェリー就航開始時期を遅らせる選択肢はないのか。

問 フェリー関連工事を本来6月に始める予定であったため、既に切迫している。既存事業に極力



横須賀港新港ふ頭

小動物火葬施設の事業継続を決定

焼却炉の老朽化や委託事業者職員の高齢化などを理由に事業の廃止が提案されていましたが、今回事業継続が決定しました。関係団体の意見や地域から継続要望の声があったことを受け、廃止案を取り下げ、再検討を行っていました。が、炉内の耐火物の部分補修で耐用年数を延ばすことができる

主な質疑

問 耐火物の補修工事を数回に分けて行うが、1回で行えば費用を削減できるのではないかと。答 1回で行うには、10日以上施設を休止しなければならず、動物の遺体

を保管する場所がないため、数回に分けて行う。問 補修により耐用年数は何年延長されるのか。答 メーカーによれば10年とのことだが、他の設備も老朽化しており短くなる可能性もある。問 技術継承についてどのような対策を行っているか。答 ベテラン職員が承継者の横で作業を指導するなど行っている。

市議会の新型コロナウイルス対応

コロナ対策協議会を立ち上げて対策を提言

コロナ禍でお困りの市民のために、市議会は何をすべきか。集中的に議論するため、5月に新型コロナウイルス感染症対策検討協議会（以下、コロナ対策協議会）を立ち上げ、これまでに15回以上の会議を重ねてきました。

各議員のアンテナでとらえた150項目以上の課題について、議員間で一つひとつ議論し、対策すべき項目は市に提言し、調査が必要なものは調査を求めてきました。

また、生の声を直接伺って課題を把握するため、医療機関や児童福祉施設などを対象に7回のヒアリングも実施し、議論に反映しました。

さらに、第2波・第3波の感染流行に備え、市の対策を振り返る検証も同時並行で行っています。知見は時々刻々と変わっていくため、最新の情報に照らして改めるべき点を改めるよう提言しています。

なお、コロナ対策協議会の要望事項等は全て議会ホームページ（右記QRコード①参照）で公開しているほか、議事録も会議録検索（右記QRコード②参照）でご覧いただけます。



QR-①



QR-②



横須賀市保育会からのヒアリング模様

「マニフェスト大賞」でエリア選抜に選定

全国の優れた取り組みを表彰するマニフェスト大賞にて、全国2,842件の応募の中からエリア選抜138件に、本市のコロナ対策協議会の取り組みが選定されました。



市民のために重要な意思決定を止めない～災害時BCP～

市内で大規模災害が発生した際には、迅速な意思決定が必要となります。災害対策の補正予算や条例改正など、重要な議決は議会にしかできません。ところが、議員の被災等で議会を開会できなければ意思決定が滞ることになります。迅速に議会が開会できるよう体制整備を行うため、「議会災害時BCP」という業務継続計画を定めてきました。

しかし、コロナ禍を受け、対面での会議を開催できない事態も想定する必要が出てきました。そこで、従来のBCPを改定して「災害対策会議のオンライン開催」を新たに盛り込み、実際に機能するかを確認するため、「昨年本市でも多大な被害をもたらしたような大型台風が襲来した」との想定の下、訓練を実施しました。

本訓練は、議長による対策会議の招集に始まり、BCPに沿ってオンライン会議システムを活用して進められました。各議員は、写真を交えて地域の被害状況を対策会議に情報提供し、その情報は瞬時に全議員に伝えられ情報共有が図れました。初めてのオンライン会議による訓練となりましたが、通信障害や端末障害もなく円滑に行われ、今回の訓練は目的を達成することができました。

感染症や大災害など様々な状況にあっても、市民のための役割を果たし機能する議会であり続けるべく、今後も議員と議会事務局職員が一丸となって取り組んで参ります。



オンライン会議による訓練模様

9月定例議会 一般質問

発言通告の全文はこちら➡



<p>大貫次郎 自由民主党</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症対策について (2) 防災行政無線の活用について (3) 横須賀市歌について
<p>大村洋子 日本共産党</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) コロナ禍で浮き彫りとなった社会の脆弱性について (2) 本市の核兵器廃絶への到達点について (3) コロナ禍であぶり出された日米地位協定の実態について
<p>井坂直 日本共産党</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 生ごみ処理器キエーロの普及とごみ処理のあり方 (2) 原子力災害時における感染症対策と熱中症予防について (3) 3密防止と放射能を防ぐ密閉と遮断の矛盾について (4) 気候非常事態宣言について
<p>加藤ゆうすけ よこすか未来会議</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 本市における若者政策について (2) 若者の意思表示機会を確保する必要性について (3) 若者政策を分野横断的に扱う部局を設けることについて (4) 「FM戦略プラン」の縮減目標前倒しの必要性について
<p>青木秀介 自由民主党</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 人口減少社会に対応したまちづくりについて (2) さいか屋横須賀店跡地の再開発について (3) 郷土愛の醸成に向けた教育の推進について
<p>関沢敏行 公明党</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 行政のデジタル化を一気に進める事について (2) 手続きの簡素化と市民サービスの向上について (3) デジタル人材の確保策と“人材”の育成について (4) デジタル化とマイナンバーカードの普及について
<p>小幡沙央里 よこすか未来会議</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) コロナ禍における避難所運営について (2) 障害者の相談体制について (3) 総合相談について (4) 放課後児童健全育成事業について
<p>藤野英明</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 赤ちゃんの死を語る社会にする為の啓発活動の必要性 (2) コロナ禍で自殺リスクが高い今こそ自殺対策を強化せよ (3) 感染者情報の公表内容はアウトブレイク防止を徹底すべき (4) 多様な家族のあり方を国勢調査で尊重する姿勢について
<p>ねぎしかずこ 日本共産党</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナ感染拡大を防ぐための公衆衛生強化について (2) 米海軍横須賀基地関係者からのコロナ感染防止について (3) CO₂削減のための「プラごみゼロ宣言」を出すこと (4) 市立福祉施設「かがみ田苑」への指導監査について
<p>川本伸 公明党</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) テレワークの普及による本市への定住政策について (2) 西地区海岸周辺の土地利用活性化ビジョンについて (3) 市公式LINEでの観光イベント情報の発信について (4) 休校時の家庭でのオンライン授業の取組みについて
<p>堀りょういち よこすか未来会議</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) オンラインでの市民参加基盤の構築について (2) 政策手法へのデザイン思考の積極的な活用について (3) 本市でのクラウドファンディングの活用について (4) 本市行政のあり方を抜本的に見直す必要性について
<p>嘉山淳平 よこすか未来会議</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「市民レポートシステム」の導入について (2) 農業体験・漁業体験など着地型観光の推進について (3) サイクリストが訪れやすい環境整備の必要性について (4) 市内でキャンプ実施可能エリアを推奨することについて
<p>小室卓重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ケースワーカーを増やす必要性について (2) 「保護のしおり」を見直すことについて (3) 保育・子育て支援の職員体制について (4) 神奈川県基地関係県市連絡協議会の退会について
<p>竹岡力 よこすか未来会議</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) ワークーションができる拠点を増やすことについて (2) Wi-Fi利用可能エリアをマップにすることについて (3) ALTの効果に対する市長及び教育長の評価について (4) ALTに代わるオンラインレッスンの導入について
<p>小林伸行</p> 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 神奈川県基地関係県市連絡協議会の退会について (2) 教育委員会のあり方について (3) 2025年問題に対応する地域包括支援センター拡充

令和2年 8月臨時議会・9月定例議会 審議結果

○=賛成、×=反対、- =欠席

賛否が分かれた議案	会 派				無会派					
	自由民主党	よこすか未来会議	公明党	日本共産党	木下義裕	小林伸行	小室卓重	杉田 惺	はまのまさひろ	藤野英明
令和2年度横須賀市一般会計補正予算(第6号)	12人	12人	7人	3人						
保育園条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
都市公園条例中改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和元年度横須賀市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
令和元年度横須賀市特別会計国民健康保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和元年度横須賀市特別会計介護保険費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和元年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
令和元年度横須賀市病院事業会計決算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
教育委員会委員選任について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○
令和2年度横須賀市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	×	○	-	○	○

※その他議案24件については、全会一致で可決、認定または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。
※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和2年10月6日現在

自由民主党 大野忠之 西郷宗範 青木哲正 青木秀介 田辺昭人
松岡和行 加藤真道 渡辺光一 南まさみ 山本けんじゅ
田中洋次郎 大貫次郎

よこすか未来会議 伊関功滋 永井真人 小幡沙央里 加藤ゆうすけ 嘉山淳平
工藤昭四郎 高橋英昭 竹岡力 角井基 長谷川昇
葉山なおし 堀りょういち

公明党 板橋 衛(議長) 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行
本石篤志 二見英一 川本 伸

日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

請願・陳情

	件 名	結 果
請 願	横須賀市による自衛官募集のための自衛隊への名簿提出の中止等について	不採択
陳 情	平坂公園への手洗い・水飲み場の設置要望について	審査終了
	別居、離婚後の面会交流についての法整備を求める意見書の提出について	趣旨不承
	横浜地方裁判所・横浜地方検察庁横須賀支部旧庁舎の解体工事における正常化について	審査終了
	障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援について	審査終了
	配慮ある重度障害者医療費助成施策の実施について	審査終了
	水道事業の民営化反対について	審査終了

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

編集後記



8月の臨時議会、9月の定例議会では、コロナ禍による感染症対策や経済対策のための補正予算が提出されました。今後も感染症に対する議会の対応を含め市民生活に関わる情報の発信に努めてまいります。

編集：広報広聴会議(◎=委員長、○=副委員長)
後列左から 大貫次郎/青木秀介/加藤真道/山本けんじゅ/
高橋英昭/小林伸行/井坂 直/堀りょういち/川本 伸
前列左から ◎嘉山淳平/○石山 満

横須賀市議会
公式ツイッターは
こちらから！




令和2年12月定例議会の予定

開催日	会議名
11月26日(木)	議会運営委員会
11月27日(金)	本会議、予算決算常任委員会(本会議終了後)
12月2日(水)	教育福祉常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
12月4日(金)	総務常任委員会(予算決算分科会) 生活環境常任委員会(予算決算分科会)
12月8日(火)	基本構想・基本計画策定特別委員会
12月10日(木)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
12月14日(月)	議会運営委員会、本会議(14時)

※11月30日(月)・12月3日(木)・7日(月)・9日(水)・11日(金)は予備日です。
※インターネットで中継もご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています。)
※時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
※傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPが議事課でご確認ください。

次期基本構想・基本計画策定に向けた 特別委員会を設置

5月14日の招集議会において、基本構想・基本計画策定特別委員会を設置し、10名の委員が選任されました。

現行の基本計画が2021年度末(令和3年度末)で終了するため、特別委員会では、次の基本構想・基本計画の策定にあたり、集中的に審査を行います。

委員会は、8月までに4回委員会を開催し、計画内容に関する議会からの意見・要望等を取りまとめて提出し、9月の委員会では、提出した意見・要望等が反映された草稿(たたき台)について質疑を行いました。

次期基本構想・基本計画は、これから市民アンケートやワークショップ等行い市民意見を聴取しながら策定作業が行われ、市長の諮問機関である総合計画審議会でも審議されます。

今回は、LINE等のSNSを活用した手法による市民意見の聴取も検討しているとのことでした。

基本構想・基本計画は、まちづくりの基本的な方向を定めるもので、8年間という長期的な視点に立った市の未来像を描く計画です。議会としても、しっかりと議論していきます。